

子どもたちの笑顔が見たくて17年。
長年の読み聞かせ活動で文部科学大臣表彰を受賞

写真左上から時計回りで木村代表、宮田さん、山田さん、矢野さん、塙田さん、渡辺さん、大西さん、石井さん

読み聞かせボランティア
ありんこ

現在は、40〜80代の主婦9人で日光地域を中心に活動しています。日光図書館が新図書館建設で移転中のため、日光郷土センターで、赤ちゃん向けと未就学児・小学生向けの2つの「おはなし会」を月2回ずつ開催しています。

「おはなし会」には郷土センターに訪れた観光客が立ち寄ることもあります。また、小学校での「出張おはなし会」や、月1回の勉強会も開催しており、アイデアを出し合い、活動内容の工夫を重ねています。最近では紙芝居を取り入れ始めました。

子育て中の皆さんには、テレビを見る時間をちよつとだけ減らし、読み聞かせの時間を作ってもいいと思います。読み聞かせに大げさな抑揚や演出は必要ありません。自分も楽しみながら絵本を通して

子ども どもの読書活動を長年推進してきた実績により、今年度の文部科学大臣表彰を受けた、読み聞かせボランティア「ありんこ」の皆さんをご紹介します。

発足したきっかけは？
平成12年に、日光図書館の「読み聞かせボランティア養成講座」に参加したメンバーが、講座で学んだことを実践する機会を作りましょうと声を掛け合い「ありんこ」を立ち上げました。

長年活動を続けてこられた秘訣は？
何よりも、私たちは絵本と子どもが大好きで、参加することが日常生活の励みになっています。まさに、参加した子どもたちの笑顔が財産です。

また、幅広い年齢のメンバーが集まる中で、それぞれの家庭や仕事などを理解し合い、支え合ってきたことが、長く続けてこられた秘訣です。

それと家族が活動を理解してくれていることも大切ですね。

子育て中の方へのメッセージ
子育て中の皆さんには、テレビを見る時間をちよつとだけ減らし、読み聞かせの時間を作ってもいいと思います。読み聞かせに大げさな抑揚や演出は必要ありません。自分も楽しみながら絵本を通して

インタビューを終えて…
代表の木村志津子さんは「今回の受賞は「おはなし会」に参加してくれた子どもたちも含め、皆さんで頂いた賞です。今後も人のつながりを大切に活動をしていきたいです」と語っていました。

また、メンバーの宮田直子さんは「絵本は「心のミルク」。つまり、心を成長させる栄養です。私たちも無責任なことではできません」と話します。

ありんこの皆さんが、活動に強い使命とやりがいを持っていることを実感しました。



絵本に集まる子どもたち

※ありんこの皆さんは、9月3日(日)午前10時から小杉放菴記念日光美術館で絵本の読み聞かせ会を開催します。くわしくは情報なびの35ページをご覧ください。